

## 農林漁業現地事例情報

### 17 農林水産業を支える新技術の開発と成果の普及（都市的地域）

大豆不耕起栽培の導入を模索 [佐賀・大町町]

情報収集官署名：九州農政局 武雄統計・情報センター  
5 0954-23-0171

#### [取組主体]

名 称 J A佐賀みどり  
取組の範囲 杵島郡北方町、江北町  
開始年度 平成 13 年度  
[補助事業] 無

#### 1 取組目的と概要

##### (目的)

長雨の影響によるは種期の遅れを防ぎ、高品質、安定生産、省力化を図ることを目的に大豆の不耕起まき栽培の推進に取り組んでいる。

##### (概要)

J A佐賀みどり管内では、大豆栽培をより安定化させるため、麦後作大豆の不耕起まき栽培を3年前から試験的に行っており、平成 16 年から2台の専用種まき機を使って、杵島地区内の農家 12 戸が約 5.4ha のほ場で本格的に実施した。

同栽培の特徴は、①雨が続く梅雨時期でも、ほ場に滞水しない限り適期まきが可能、②発芽や苗立ちが良好、③省力化を図ることが可能、④収量・品質が安定する、⑤は種精度が高くなるなどのメリットがある。

#### 2 取組の効果

##### (効果)

平成 15 年は、長雨が続き、適期まきがほとんどできなかったことから、県内全域で生育不良・品質低下を招く結果となった。同 J Aでは、これらを改善するための栽培方法として期待している。

#### 3 現在の課題と今後の展開方向

##### (課題)

不耕起まき栽培には、除草剤や石灰の散布が必要となることや、は種後にほ場の表面が滞水するような降雨があると発芽に障害が発生しやすいという問題がある。

##### (展開方向)

同 J Aでは、は種の遅れによる生育不良、品質低下を防ぐ有効な手段として期待しており、各地区で実演会を開催し、不耕起まき栽培の推進に取り組む方針である。